

優秀実践校、団体の紹介

○松阪市立香肌小学校

(まつさかしりつかはだしょうがっこう)

学校内に地域の人が利用できる地域開放型図書館を作り、児童が地域と交流しながら積極的に読書活動できる環境を整備しています。開館日には、児童が参加する発表会や作品展示等を地域の方とともに実施し、地域の方からおすすめ本を教えてもらうなどの交流をしながら読書活動の推進を図る工夫も行っています。

さらに、公共図書館の本を地域開放型図書館で貸出・返却が可能のため、学校図書館にない資料を借りることができ、児童は様々なジャンルの本に触れることが可能となっています。

○四日市市立塩浜小学校

(よっかいちしりつしおはましょうがっこう)

令和3年度から四日市市読書活動推進校として取組を行っており、毎学期、図書委員会、図書館司書を中心に図書館祭りを開催し、本に触れるきっかけを作るとともに校舎の中庭に手作りベンチを設置し、児童がのびのびと読書できる「中庭図書館」という空間づくりを行うなど読書環境整備を推進しています。

読書活動推進の主な取組として、朝読書、高学年から低学年への読み聞かせ、長期休み前のブックバイキング(本の表紙が見られるよう図書館内に本を並べ、気に入った本を借りる)、市内の他の小学校とオンラインでつながり、お互いのおすすめ本を紹介する「わたしのおすすめ本紹介」の企画など多様な取組を行っています。

○三重県立城山特別支援学校

(みえけんりつしろやまとくべつしえんがっこう)

肢体不自由教育部門の学校で、障がいの状態や発達段階が様々な児童生徒が在籍している中で、教員と学校司書が連携しながら、季節の行事に関する大型絵本の読み聞かせを行うなど、児童生徒にとって読書が楽しい時間となるよう、読書活動の充実や図書室の環境づくりに取り組んでいます。

またそのほかにも、週に1回程度児童生徒が図書室でおすすめの本を探し、友だちに紹介する活動を行ったり、教科等の学習で、児童生徒が疑問に思った題材について、図書室で調べ学習を行ったり、図鑑や絵本等視覚的にわかりやすい図書を補助教材として活用したりと様々な取組を行っています。

○お話の国アリス（伊賀市）

(おはなしのくにありす)

平成10年から24年にわたって、子どもや高齢者などに対して様々なテーマに対応した読み聞かせをする「おはなし会」を行っています。おはなし会では、子どもたちが楽しく参加できるよう、メンバーの特技を活かしてギターやキーボードの演奏など音楽を使って読み聞かせを行っており、童謡やリズムへの親しみを通して、子どもの想像力や表現力、ひいては読書力が育つよう取り組んでいます。

地域の小学校に対しても「朝の読書活動」や「ブックトーク」等を行い、学校との連携も積極的に行っています。